



平成 26 年 5 月 14 日

各 位

会社名 星和電機株式会社
 代表者名 取締役社長 増山 晃章
 (コード 6748 東証第2部)
 問合せ先 専務取締役 愛知後 秀作
 (TEL . 0774 - 55 - 8181)

通期連結業績予想値と実績値との差異及び個別業績の前期実績値との差異並びに剰余金の配当に関するお知らせ

平成26年2月12日に公表いたしました通期連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、通期の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

併せて、本日開催の取締役会において、平成26年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値との差異について

(1) 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,000	百万円 500	百万円 450	百万円 400	円 銭 33.06
実績値 (B)	21,195	536	501	619	51.22
増減額 (B) - (A)	1,195	36	51	219	
増減率 (%)	6.0	7.3	11.5	54.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	18,661	448	423	354	29.29

(2) 差異の理由

売上高につきましては、ほぼ前回発表予想値の通りです。

利益面では、営業利益、経常利益につきましては、前回発表予想値より微増の範囲となりましたが、当期純利益につきましては、今後の業績見通しに鑑み、当期において繰延税金資産を計上し、法人税等調整額を戻し入れしたことにより、前回発表予想値を上回ることとなりました。

2. 前期個別実績値との差異について

(1) 平成 26 年 3 月期通期個別実績値と前期個別実績値との差異 (平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 18,376	百万円 535	百万円 503	百万円 469	円 銭 38.82
当期実績値 (B)	21,029	550	518	625	51.68
増減額 (B) - (A)	2,653	15	14	1,094	
増減率 (%)	14.4	2.8	3.0		

(2) 差異の理由

売上高におきましては、公共投資の堅調な推移のなか、道路関連の需要増加を受けて、道路情報機器、トンネル照明機器の売上が増加したことに加え、猛暑や消費税増税前の駆け込み需要によりエアコン用配管保護機材の売上が増加したことから、前期実績値を上回ることとなりました。

利益面におきましては、工事費の高騰、為替の影響による仕入価格の上昇、経費の増加により、営業利益、経常利益は微増にとどまりました。

当期純利益につきましては、前期は特別損失の計上による減益、当期は繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の戻し入れによる増益、これらの結果、前期実績値を大幅に上回ることとなりました。

3. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 26 年 2 月 12 日公表)	前期実績 (平成 25 年 3 月期)
基準日	平成 26 年 3 月 31 日	同左	平成 25 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	7 円 00 銭	5 円 00 銭	0 円 00 銭
配当金の総額	84 百万円	-	-
効力発生日	平成 26 年 6 月 12 日	-	-
配当原資	利益剰余金	-	-

(2) 理由

平成 26 年 3 月期の期末の配当予想につきましては、1 株当たり 5 円 00 銭と発表させていただきましたが、当期の業績において、当期純利益が見通しを上回ったことに伴い、財務状況及び今後の見通しを総合的に勘案し、期末の配当金を 1 株当たり 7 円 00 銭とさせていただきます。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1 株当たり配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期末	合計
当期実績	0 円 00 銭	7 円 00 銭	7 円 00 銭
前期実績 (平成 25 年 3 月期)	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

以 上